

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員	1 政治姿勢について	<p>以下の選挙公約をどのように推進するのか伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策について ア 新型コロナウイルス感染症対策を強化する対策は。</p> <p>(2) その他の対策について ア 項目1. やさしい子育て、伊佐の魅力ある教育「全国1位」を実現する対策は。 イ 項目2. 都市との交流を盛んにし、多くの人に来ていただけるまちづくりを推進する対策は。 ウ 項目3. 安心・安全に暮らせる環境づくりを推進する対策は。 エ 項目4. 市民の皆様に納得される公共施設の施設運営を行う対策は。 オ 項目5. 稼げる地域、安心して働ける地域づくりを推進する対策は。</p>	市長	
		2 新庁舎建設内容と菱刈庁舎の組織・機構について	<p>(1) 以下の選挙公約を具体的に伺う。 ア 新庁舎建設は内容を熟考し、市民の皆様に喜ばれる建設を実現する。について イ 菱刈庁舎を残し、行政サービスを充実する。について</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	前田 和文議員	<p>1 新市長の政治目標等について</p> <p>2 今後の農政について</p>	<p>(1) 基本とする政治姿勢について伺う。</p> <p>(2) 市政に対する目標について示されたい。</p> <p>(1) 共済制度の変化についてどのように把握されているか伺う。</p> <p>(2) 大、小規模の農業経営者に不安を与えることはないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	柿木原榮一議員	<p>1 伊佐市長選挙の公約の「やさしい子育て、伊佐の魅力ある教育『全国1位』を実現します」について</p> <p>2 伊佐市公共施設の整備について</p> <p>3 給食費の公会計化の導入について</p>	<p>(1) やさしい子育ての8項目について、具体的に市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 伊佐の教育行政の問題点は何か。</p> <p>(1) 公共施設の調査・点検が完了したと思うが、どのような状況か。また、どの位の整備及び維持管理を見積もっているのか。</p> <p>(2) 旧大口市・旧菱刈町で建設されて重複した目的の公共施設の考えかたは。</p> <p>(3) 建物改修・維持管理、取り壊しに莫大な費用が掛かるが、どのように対処するのか。</p> <p>(4) 建物の改修・維持管理・取り壊しのために積立金や基金が必要と思うが、どう理解しているのか。また、施設整備条例の制定が必要だと思うが、どう感じているのか。</p> <p>(1) 以前、同僚議員が同様の質問をしたが、導入見込みの可能性は。</p> <p>(2) 伊佐市立学校給食センター運営委員会での方向付けは。監査等の指摘はなかったのか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	庵下 信一議員	1 鳥インフルエンザ発生防止への対応・対策について	(1) 養鶏農家数など飼養の現状について ア ブロイラー飼養農家数 飼養羽数 出荷額 イ レイヤー飼養農家数 飼養羽数 出荷額 ウ 農畜産物出荷額に占める割合は。 (2) 鳥インフルエンザ発生防止への対応・対策について ア 県からの指導状況は。 イ 現在までの対応・対策は。 ウ 今後の対応・対策は。	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	畑中 香子議員	1 庁舎建設について	<p>市長は就任挨拶で、「夢のある伊佐」を掲げこれまでの市政について「見習うべきもの」として継続発展させるものと大胆に変えるべきものがあるとの見解を示しているが、大胆に変えるべき物はまず庁舎建設計画ではないのか。</p> <p>(1) 市長は選挙公約で「市民の声を聞いて進める」という立場を示していたが、選挙の結果から、「庁舎建設の見直し」を掲げた2人の候補者が56%を集め、私どもが行った市民アンケートでも「現計画に反対」が86%である。本当に市民の意見を聞くというのなら一旦立ち止まり、住民アンケートや住民投票を実施すべきではないか。</p> <p>(2) 前市長は「市長の部屋」で「中途半端な庁舎建設では20年後に再び大規模改修工事をしなければならない」といっていたが、ふれあいセンターの寿命はあと何年か。ふれあいセンターとつなげる案ではそれこそ25年後に改修を行わなければならないのではないのか。場所も含めて「大胆に見直す」べきではないか。</p> <p>(3) 当初市は「菱刈庁舎を支所としても置かない」として8,000㎡の基本構想を策定し、基本計画でも8,000㎡との規模を示したが、この間市は菱刈庁舎を存続させる方針に切り替え、市長も選挙公約で菱刈庁舎の存続を確約されている。大口庁舎と菱刈庁舎を併せると11,000㎡となるが25,000人のまちに11,000㎡の庁舎は「公共施設管理計画」から逸脱する。8,000㎡の計画は変更すべきではないのか。</p> <p>(4) 「菱刈支所を残し、行政サービスを充実させる」と公約されているが、菱刈庁舎を何年間残す考えか。3,000㎡の庁舎をどのように使うのか。</p> <p>(5) 合併推進債で国からの交付金算入を見込んでいるが、来年度から算定替え終了により交付税そのものが減らされてくる。これまでよりもさらに「財政が厳しい」ので市民の負担を増やす、サービスをカットするというようなことにならないのか。</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	畑中 香子議員	2 市民から要望の強い施策への取組は	<p>市はこれまで市民サービス抑制と自助・共助を促す市政を行ってきたが、「継続・発展」させるとして続けていくのか。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス対策としてPCR検査費用の助成を行うなど市民が「だれでもいつでも何度でも」検査が受けられる体制を作るべきではないか。</p> <p>(2) コロナの影響で打撃を受ける全ての商工業者へ支援を強めるべきではないか。</p> <p>(3) 現在県下で最低水準となっている「子ども医療費の無料化」をどのようにすすめるのか。</p> <p>(4) 県下で一番高い老人宅配給食へ一般会計から繰り入れを行って値下げをするべきではないか。</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	1 男女共同参画推進の取組について	<p>(1) 男女共同参画推進の重要性についての市長の見解について 男女共同参画社会基本法によると男女共同参画社会の実現は国の最重要課題と位置づけられている。本市における男女共同参画推進の重要性について市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 条例制定について 県内19市のうち8市が男女共同参画推進条例を制定済み、1市が来年度制定する。伊佐市でも推進条例を制定する考えはあるか、あるとしたら目標時期とともに伺う。</p> <p>(3) 組織、予算、人材育成について 伊佐市スタート時には「男女共同参画推進係」という名称の係があったが、現在は「地域活力推進係」が担当している。正面から男女共同参画に取り組む組織を設け、予算を付け、市民とともに人材育成を図っていただきたいとの市民の声が届いている。急激な人口減少を食い止め、「自然は豊かだけど封建的」という鹿児島イメージを払拭し、伊佐市を若い移住者からも選ばれるまちにするために、市民の声に応じて男女共同参画の名を冠した組織づくり、予算措置、人材育成に取り組む考えはあるか、あるとしたら目標時期とともに伺う。</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	2 学校における冬季の学習環境について	<p>(1) 教室内の室温について 12/4(金)田中小学校を視察、朝8時半過ぎに1階1年生の教室(外廊下)の室温を測定したところ教室後方、高さ約70cmの棚の上で9.5℃、床上は8.5℃、換気のため開けられた扉から入る風の通り道では6.5℃であった。 ア 文科省の学校衛生環境基準によると教室内の温度は17～28℃とされている。この基準は守られているといえるのか。 イ エアコンやストーブの使用と室温について、現場にどのような配慮を求めているのか、電気料金や燃料節約の要請はしているのか伺う。 ウ 文科省の基準を順守し、学習環境を整えるために温(湿)度計をすべての教室に、かつ一定の場所に設置する必要はないか。</p> <p>(2) コロナ対策及びインフル対策としての加湿器設置状況について コロナ対策及びインフル対策として加湿器も教室の広さに見合う大きさのものが必要と思われる。加湿器の設置状況を大きさとともに伺う。</p> <p>(3) 伊佐は「鹿児島県の北海道」と言われる寒冷地である。「教育日本一」を目指す市長は、「まちの宝」である子どもたちの冬季の学習環境視察の予定はあるか伺う。</p>	市長 教育長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	3 新庁舎建設について	<p>(1) 男女共同参画の観点から 平成23年(2011年)から取組が始まった「伊佐市男女共同参画基本計画」の「政策・方針決定過程への女性の参画の拡大」に基づき伺う。 ア 新庁舎建設の検討開始は平成何年か。現在まで担当部署には何人の女性職員が関わってきたか、事務補助者を除き部署ごとに、何人中何人、何%というかたちで示されたい。 イ 基本構想と基本計画を審議した新庁舎建設検討委員会は何人の市民委員のうち何人、何%が女性であったか。 ウ 市民ワークショップ、職員ワークショップではどうだったか。 エ この事業の進め方で男女共同参画計画に沿った行政といえるか。 ア～ウの答弁を踏まえて簡潔にお答え願いたい。</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	3 新庁舎建設について	<p>(2) 市民に対する説明について</p> <p>ア 検討委員会議事録要旨には初回の平成29年(2017年)3月「市民にていねいに説明する必要がある」との委員長の発言、第2回は「菱刈庁舎はどうなるのかとの声がある」との市民委員の発言に対し「住民への説明が大事、しっかりやっていく」との返答、構想を終え基本計画段階に入った第10回では「住民説明会は何回するのか」との市民委員からの発言に対し「具体的には未定。様々な意見に対して、ていねいにお話ししていきたい」との返答がある。委員長の発言から今年2020年10月まで3年7か月、住民説明会をしなかった理由を「〇〇だから」との簡潔なかたちで伺う。</p> <p>イ 検討委員会、市民ワークショップ、それぞれ何人の市民が庁舎建設について説明を受けたか、延べ人数ではなく正味人数で示されたい。</p> <p>ウ 10月の住民説明会の各回の市民参加者数、及び2回とも参加した市民を除いた合計人数は何人になるか。イと合わせると何人か。</p> <p>エ 市長は、担当部署の市民に対する説明は十分であるとの認識があるか。</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	3 新庁舎建設について	<p>(3) 菱刈庁舎の今後について</p> <p>旧大口市と旧菱刈町の間で交わされた合併協定書には、両者の優劣関係が生じないことを確認するために「対等合併」とわざわざ記されており、合併後は2つの庁舎を「同格の庁舎」として活用すると明記されている。一度旧菱刈町が住民投票で合併を否決した経緯に鑑みれば、不便で非効率であっても合併の合意に至るためにはこのような形を取らざるを得なかったのではないかと。しかし、現在の計画は菱刈庁舎を単なる支所または出張所にするを前提に、しかも何の説明もなく進んでいる。確かに業務の効率性と市民の便宜は大切であるが、市の均衡ある発展という観点からみれば窓口業務だけが残され、現在の職員数（正規職員87人、会計年度任用職員23人、合計110人）が大幅に減少するような事態は菱刈地区の住民には受け入れがたい。鹿児島銀行の支店移転ですら大きな打撃となっている。庁舎の存在は単なる建物の有無の問題ではなく、合併以前からの住民の精神的な拠り所でもある。庁舎が今後どうなるのか、住民は強い不安を抱いている。市は住民に対し構想をきちんと説明し、納得が得られてから新庁舎建設を進めていくべきではないか。円滑な事業推進のためにも早急に住民説明会を開催するべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 新庁舎の面積と事業費について</p> <p>菱刈庁舎の利用と密接不可分の問題であるが、人口減少は確実に進行し、職員数も減る。現在の計画は市民の声があれば変更されると考えてよいのか。</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	久保 教仁議員	<p>1 園芸作物の産地化を</p> <p>2 伊佐市内高等学校への支援について</p>	<p>(1) 伊佐の農業産出額は、175億7,000万円。その76%が畜産、米が14%、野菜にいたっては7%弱の12億7,000万円。うち、市の指定する重点野菜は、野菜の35%3億4,000万円ではない。重点野菜の定義は何か。また、園芸振興にどう取り組むのか伺う。</p> <p>(2) 伊佐市では、第2次食育推進計画の中で、平成32年度に地場産物の利用割合30%を目標に設定している。平成32年度とは、令和2年度であるが、見通しはどうか。</p> <p>(3) 伊佐市には、カボチャ・長ネギ・水田ゴボウ・ゴーヤの生産者部会と伊佐市学校給食生産者会という組織がある。この中で、学校給食生産者会の給食用野菜納入状況を分析すると、伊佐市の園芸の実態が垣間見える。どのような野菜を・いつ・どのくらい必要かを教えてくれる。遅々として進展しない園芸振興、給食センターのサポート・地元産食材の比率アップから取り組むべきではないか。</p> <p>(1) 市内の3高校に、9つの補助事業がある。これらの事業は、事業名の1つにもあるように魅力ある高校づくりや減少を続ける生徒確保を図るために組まれた事業だ。それぞれの事業の支援の効果はどうなっているか。</p> <p>(2) 県立2高校の統合を考えているのか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	武本 進一議員	<p>1 菱刈庁舎の住民サービスと新庁舎問題について</p> <p>2 木材価格について</p>	<p>(1) 新庁舎建設の具体的な計画がある程度決まったら、各校区ごとの集会所等で住民説明会を開いて市民の皆様との理解を深めることが大事だと考えるが、新市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 菱刈庁舎を併用することで新庁舎建設費用をできるだけ抑えることが出来ないか。</p> <p>(3) 菱刈庁舎と住民サービスの機能を維持するうえで最も重要とすることは何か。</p> <p>(1) 木材価格が低い状態にあるが、その要因について問う。</p> <p>(2) 今後はどのようにすれば価格の上昇が可能となるか、市長の見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員	<p>1 小児言語聴覚士の配置は検討できないか</p> <p>2 相続特定の条例制定の検討は</p> <p>3 市道土瀬戸～曾木の滝線の整備状況は</p>	<p>(1) ことばの教室の現状と課題について</p> <p>ア 小児言語聴覚士の県内の取組状況と、本市の取組状況を伺う。(ことばの教室設置数)</p> <p>イ ことばの教室に現在通級している人数について伺う。(自校通級と他校通級のそれぞれ人数)</p> <p>ウ ことばの教室の効果と他校通級の課題について認識を伺う。</p> <p>エ 小児言語聴覚士の配置を検討できないか見解を伺う。</p> <p>(1) 伊佐市で現在、空き家・所有者不明土地の現状把握について伺う。(空き家・農地・山林)</p> <p>ア 現状に対し、今後の課題と解決に向けた具体策について見解を伺う。</p> <p>イ 所有者不明による、固定資産税の取扱いについて伺う。</p> <p>ウ 相続特定の条例制定の考えはないか見解を伺う。</p> <p>(1) これまでの計画の経緯について、説明を求める。</p> <p>ア 計画変更に至った経緯、今後の計画について見解を伺う。</p> <p>イ 当初5年で完了する計画であったが、変更に伴う住民説明会を開く考えはないか見解を伺う。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	福本千枝子議員	1 市長の考える「伊佐市まちづくり構想」は	<p>25年もの長きにわたり、市政運営の舵取りをしてこられた隈元市長に代わり、橋本市長が誕生した。少子高齢化そして人口減少に歯止めがかからない状況の中で、子育て支援や高齢者対策、特別支援学校の誘致、新庁舎建設そして、本市の基幹産業である農林畜産業の後継者等の多くの課題がありながらの船出となった。市長としてどのような「伊佐市のまちづくり構想」を進めていくのかを伺う。</p> <p>(1) 若者が残れるための企業誘致、地場産業の活性化、本市の基幹産業である農林畜産業の活性化と後継者育成をどう考えるか。</p> <p>(2) 不妊治療助成や子どもを産み育てる環境、そして子ども医療費など子育て支援については何が一番と考えるか。</p> <p>(3) 病院や買い物難民、介護問題等、今後の高齢者対策をどう進めていくか。</p> <p>(4) 人口減少を続ける本市にとっては、定住人口を増やす政策も重要であり、魅力ある伊佐市をどうPRしていくのか。それと同時に、観光資源である曾木の滝や曾木発電所遺構、十曾公園など交流人口を増やすべきと考える。そして、その観光客を地元商店街とリンクさせることも大事な要素である。市長の構想は。</p> <p>(5) 公約ではスポーツ合宿とあるが、どのようなスポーツで交流を図る考えなのか。</p> <p>(6) 新庁舎建設については、市民からの色々な意見が出ており、市民への情報が不足していると考ええる。今後、どのように周知し進めていくのか伺う。</p>	市長	

令和2年第4回定例会一般質問

令和2年12月16日・17日

(16枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	福本千枝子議員	2 子どもたちの「こころの教育」について	伊佐市の子どもたちの朝の「あいさつ運動」が定着し、あいさつされると「こころ」が潤いみんなが笑顔になってくる。先日の市報や、JAのクローバーそして南日本新聞の南風録には、東日本大震災で被災された南三陸町へ、干し柿を送り続けた羽月西小学校の児童の紹介があり、被災された南三陸町の高齢者のこころの癒しになっていたとあった。この干し柿作りも、コロナ禍で最後となったが、このような子どもたちの「こころ」を市長・教育長としてどのように考察され、今後、伊佐市の子どもたちの教育に、どのように活かされていくのか伺う。	市長 教育長	